

# 記者配布資料

平成 27 年(2015 年) 3 月 23 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	附属地域共生センター 所長 か と だ けい こ 加登田 恵子	附属地域共生センター しいぎ あやこ 椎木 綾子	☎ 083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

## 1 件名

平成 27 年度 山口県立大学前期公開授業  
「地域学」「環境問題」「医学」「生命と生活の質特論」の開催について

## 2 内容

山口県立大学では、本学の授業科目の一部を一般公開しています。  
本学教員をはじめ、各界の第一線で活躍する講師陣による講義を学生と一緒に受講してみませんか。

授業名	概要	①開催期間 ②会場 ③受講料
地域学	山口県の自然・福祉・教育・政治・経済など多様な視点から地域を見つめ、自分自身の生活が地域社会とどのように繋がっているのか・繋がる可能性があるのかを考え、地域課題解決や地域活性化に向け、主体的に取り組む能力を身につけることを目指します。 【全 10 回】	①4 月 9 日 (木) ～6 月 25 日 (木) 12:50～14:20 ②山口県立大学 4 号館 D15 教室 ③各回 500 円
環境問題	身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学びます。自分の生活を再点検しながら、暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。 【全 15 回】	①4 月 10 日 (金) ～7 月 24 日 (金) 10:20～11:50 ②山口県立大学 6 号館 F204 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)
医学	患者自身が医療を選択し決定する「自己決定権の確立」に役立てられるよう、プログラムを構成しています。本学教員をはじめ、医学・医療現場の第一線で活躍する講師陣を迎え、多方面から医学・医療を解説していきます。 【全 15 回】	①4 月 13 日 (月) ～7 月 27 日 (月) 17:50～19:20 ②山口県立大学本館 A32 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)

<p>生命と生活の質 特論</p>	<p>いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質 (quality of life) を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。大学院の授業です。 【全 15 回】</p>	<p>①5月9日(土) ～6月20日(土) 9:00～14:30 ②山口県立大学4号館D14教室 ③各回500円 (10回以上5,000円)</p>
-----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

詳しい講義内容・日程については、直接お問合せいただくか別添チラシ（本学ホームページにも掲載しています）をご確認ください。

### 3 申込方法

- (1) 電話、FAX またはハガキで、住所、氏名（ふりがな）、電話番号・FAX 番号を申込先〈山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門〉までお知らせください。
- (2) 部分受講も可能です。また、開催期間中は、随時受付いたします。

### 4 申し込み・問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1  
山口県立大学附属地域共生センター 共生教育部門  
TEL 083-928-3495  
FAX 083-928-3021  
ホームページ <http://www.ypu.jp/>



# 地域学

山口県の自然・福祉・教育・政治・経済など多様な視点から地域を見つめ、自分自身の生活が地域社会とどのように繋がっているのか、繋がる可能性があるのかを考え、地域課題解決や地域活性化に向け、主体的に取り組む能力を身につけることを目指します。

4月9日(木)～6月25日(木) 各回 12:50～14:20

会場：山口県立大学4号館D15教室（裏面地図参照）

受講料：1回500円

部分受講可

全10回

1	4/9	地域学入門 地域社会と私たち	地域学とは何か。 地域社会は私たちの生活にどのような関わりを持っているか考える。	山口県立大学 教授 坂本 俊彦
2	4/16	山口の地域社会	高齢化先進県である山口県で必要とされている地域コミュニティについて考える。	山口県立大学 教授 坂本 俊彦
3	4/23	山口の自然	山口県の自然特性、またエコツアーの特性について、秋吉台を中心に学ぶ。	元 秋吉台科学博物館 館長 庫本 正
4	5/14	山口の地域福祉	少子高齢化・家族の縮小等が進む山口県の制度による福祉・市民による助け合い活動とまちづくりの可能性を考える。	山口県立大学 教授 草平 武志
5	5/21	山口の地域看護	地域の健康課題を解決するための、自助・共助・公助による地域の健康づくり活動について、具体的な事例を通して学ぶ。	山口県立大学 教授 藤村 孝枝
6	5/28	山口の遺産・錦帯橋	錦帯橋と木組み技法の継承など、山口と縁の深い工事的事柄について教育の立場から学ぶ。	岩国市産業振興部観光振興課 錦帯橋世界遺産推進室 岡崎 賢治
7	6/4	山口の教育	教育史を紐解きながら、近代学校教育の問題点を「地域」の視点から考える。	山口県立大学 講師 吉岡 一志
8	6/11	山口の政治	山口県の政治風土、特に近代以降の日本政治に果たした役割と山口県民の政治意識について学ぶ。	山口県立大学 教授 井竿 富雄
9	6/18	山口の歴史	イギリスの資料を用い、日本と海外の双方の視点から幕末の山口の歴史を学ぶ。	大島商船高等専門学校 講師 田口 由香
10	6/25	山口の経済と産業	山口県の経済と産業の発展の歴史と産業特性について学ぶ。	山口経済研究所 宗近 孝憲

◆全回受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。

お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

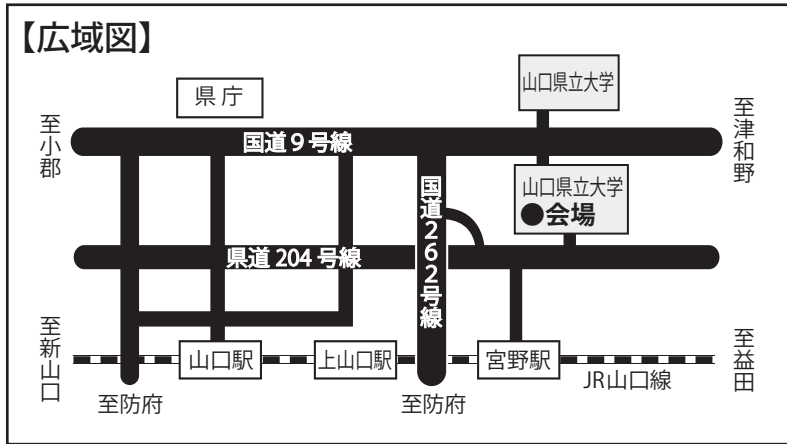
〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

# 【会場案内図】



※お車でお越しの場合は、附属地域共生センター前の駐車場をご利用ください。



平成27年度 山口県立大学前期公開授業  
「地域学」 受講申込書 (Fax 083-928-3021)

（ふりがな） お名前	
ご住所	〒
電話・FAX 番号	

電話・FAX またはハガキでお申込みください。

# 環境問題

# 地球レベル



日時：4月10日(金)～7月24日(金)  
各回 10:20～11:50

場所：山口県立大学 6号館 F204 教室

講師：国際文化学部 教授 安溪 遊地

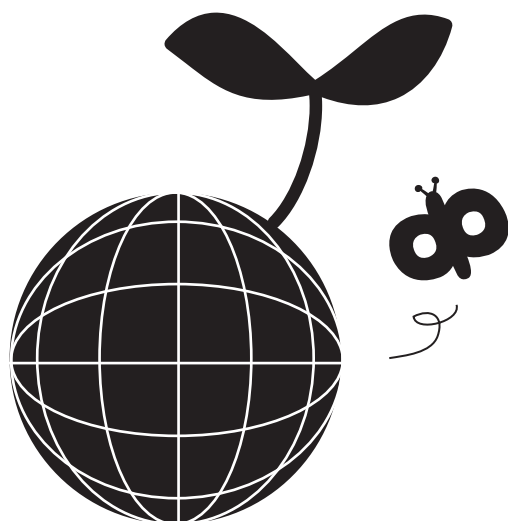
受講料：1回 500円 10回以上 5,000円

部分受講可

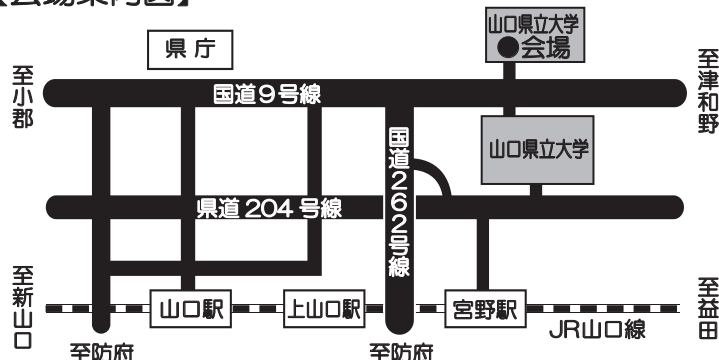
全 15 回

福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の発生。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”も崩壊した。物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育てると共に、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。現場の声に耳を傾け、マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。

- 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。



## 【会場案内図】



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021



◆講座内容

回	日程	テーマ	内容
1	4/10 (金)	環境問題のほとんどは人権問題です －この講義の進め方	環境問題と言われるもののほとんどは人権問題である。安心して暮らせる平和な環境を守るための、身近な地球人たちの真剣なときに痛快なチャレンジを紹介する。
2	4/17 (金)	想定されていた地震・津波・原発災害 －天災から人災へ	「想定外だった」を繰り返す電力会社や政治家たち。しかし恐ろしいほど正確に予測している研究者もいた。地震は止められない天災だったが、その後起こったことの多くは人災だったのである。
3	4/24 (金)	携帯電話は安全か？電磁波のことを 知っていますか (共通教育機構教授 新谷明雲)	放射線から携帯の電波にいたるまで、電磁波との正しいつきあい方を物理学の専門家からしっかり学ぶ。それを手がかりに、なぜかマスメディアが報道しないことも踏み込んで考えてみたい。
4	5/1 (金)	アフリカからのメッセージ －人類は環境を破壊して滅びる生きものではない	コンゴ民主共和国で暮らした日々で受けたショック。ゴミの出ない暮らし、地下資源にほとんど頼らないで自然の資源を恵みとして営まれる循環的な生活。そのなかで味わったこと、学んだことをお伝えしたい。
5	5/8 (金)	グローバルからローカルへ －「半農半×」の楽しみを生きる	アフリカで目覚めて放浪の旅をやめ、小さな農業をはじめた山口県田布施町の大下充徳さんの物語に耳を傾けよう。本物のお菓子や幼稚園をつくるという仕事に取り組みワクワクを伝える。
6	5/22 (金)	あったか村においてよ －人の健康・地域の健康・地球の健康を守る (阿武町 白松博之)	萩市の囲まれて合併しない道を選んだ阿武町。そこには「あったか村」という地域おこしの拠点がある。いなかには都市が忘れてしまった大切なものがある。それをみにつけにきて、その知恵を身につけよう。
7	5/29 (金)	先住民族の教え－アイヌ民族と沖縄・ 八重山の人々の世界観に学ぶ	自然の中にたくさんの神様たちがいる。自然の恩恵への感謝を常日頃忘れないようにという南の島々やアイヌ民族の教えに含まれる未来への遺産を味わい、それを取り戻して身につける練習をしよう。
8	6/5 (金)	スペイン・ナバラ自治州の持続可能性への挑戦 －わずか20年で70%電気エネルギー自給を実現	山口県と姉妹提携しているスペインのナバラ州では、グリーンエネルギーとグリーンツーリズムの取り組みが盛んだ。「持続可能性」を自治政府の政策の柱に据えたとき、地域がどこまで変わりうるか、その例を紹介する。
9	6/12 (金)	市民科学者のできること －上関原発予定地の“奇跡の海”の生物多様性を守る	上関原発の予定地は、日本海の浅海では最高の生物多様性ホットスポットだった！それを無視して押し切ろうとする行政主導の委員会の中で、苦闘する市民科学者とともに歩んできた市民たちの取り組みを紹介する。
10	6/19 (金)	化石燃料から再生可能エネルギーへ －地球1個分の暮らし(共通教育機構教授 新谷明雲)	エネルギーが足りない、資源が足りないとよく言われる。もう汚してもいい資源がなくなってしまったという問題こそが地球環境問題の最大の焦点だろう。この授業を再生可能という基本から考え直す機会にしたい。
11	6/26 (金)	知る・愛する・守る －アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流	1978年からコンゴ民主共和国やケニアに通っている安溪遊地・安溪貴子の研究と地元の人々との交流を紹介。内戦や貧困など、どのような困難の中でも、希望を失わず自然との共存に生きる人々の生き様に学ぶ。
12	7/3 (金)	安心安全の暮らしのために(1) －本当にこれを食べてもいいのですか？	それはほんとうに安心して食べられるものか。例えば10週間も腐らないポテトチップス。例えば半年もかびないレモン。例えば……。食べ物から暮らしを見直すための提案をする。
13	7/10 (金)	安心安全の暮らしのために(2) －身の回りのいのちの声に耳をすます	人間の手が加わった自然である田んぼや里山にあたりまえにいた生き物たちが全国で絶滅している。命の音が聞こえないことが今最大の危機かもしれない。そして里山の自然が豊かに残る山口県のすごさに気づかないことも。
14	7/17 (金)	黙っていてあとで後悔するのはいやですね －いま足下からできること	県産材の産直で建てた価格破壊の自然住宅づくりと「第三種兼業農家」としての四季の暮らし。そして、そこに突然起こったゴミ処分場騒動や目の前の携帯電話中継基地局建設の顛末を紹介する。
15	7/24 (金)	だまされないために －知るは難く行うは易し	ありもしないことを恐れたり、できもしないことを信じているから不安になるのである。いろいろな情報の海を泳ぎ切る力をつけよう。

◆受講申込書

前期公開授業「環境問題」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電話・FAX	

電話またはFAX、ハガキでお申込みください。

# 医学

医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより、  
受ける人も医療の水準を知ることが大切です。  
この授業では、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる  
「自己決定権の確立」に役立つよう、人間をトータルで捉え、  
多方面から医学・医療を解説します。本学教員をはじめ  
医学・医療現場の第一線で活躍する講師陣による講義で  
プログラムを組み立てております。



期 間：4月13日(月)～7月27日(月)  
各回 17:50～19:20

※本講義は通常月曜日開講ですが、  
第4回のみ木曜日開講となります。  
お間違いのないようお気をつけください。

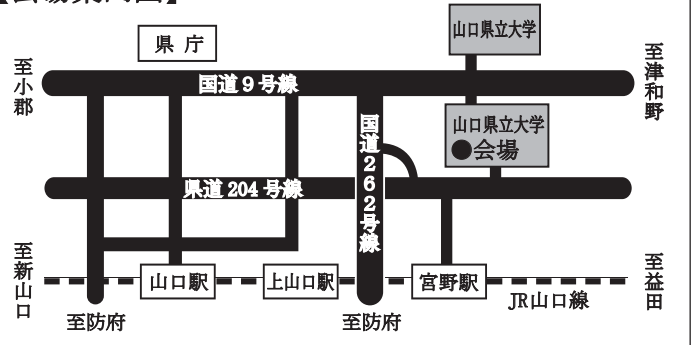
会 場：山口県立大学 本館 A32 教室

受講料：1回500円(10回以上5,000円)

全 **15** 回 部分受講可

- 13回以上受講された方には、  
「山口県立大学公開授業修了証書」を  
授与いたします。
- お申込みはTEL・FAXまたはハガキで  
下記までご連絡ください。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

## 【会場案内図】



お申込み・お問合せ

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1  
山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495  
FAX 083-928-3021

◆講座内容

回	日程	テーマ	内容	講師
1	4/13 (月)	人体の構造と機能	人体を個体・器官系・臓器・組織・細胞の階層別レベルで観察することを通して、人体の構造と機能を理解する方法を解説する。	山口県立大学学長 長坂 祐二
2	4/20 (月)	認知症とともに生きる	10年後には全国700万人に達する認知症の人が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会を実現するために、まず認知症への理解を深める機会を提供する。	地方独立行政法人 山口県こころの医療センター院長 兼行 浩史
3	4/27 (月)	何故、血管が硬くなるの？	高齢になるにつれて、血管がかたくなる（動脈硬化）。また同じ年齢でも若く見える人、年寄りに見える人など様々である。その仕組みを解説する。	山口県立大学理事長 江里 健輔
4	5/7 (木)	生と性について考える	性教育とは、情報社会の現在、命についてどう伝えるか。「かけがえのない命」という言葉は、時として傷つける言葉ではないか。生と性について考える。	医療法人いぶき会 針間産婦人科理事長・院長 金子 法子
5	5/11 (月)	ストレス応答と病気	ストレスに適切に対応するためのストレス応答の仕組みが破綻すると病気の発症や悪化につながる。具体例を示しながら概説する。	山口県立大学看護栄養学部教授 吉村 耕一
6	5/18 (月)	病気に罹らない体は つくられるの？	人の身体は不都合な物質を受け入れない。しかし体力が低下してくると、細菌などの身体に悪い物質を排除できなくなる。そのメカニズムを解説する。	山口県立大学理事長 江里 健輔
7	5/25 (月)	肝疾患の現在と未来	アルコール性肝障害やウイルス性肝炎について、またそれらの肝疾患の合併症など身近なことを例に学ぶ。また最近の治療方法の進歩についても学ぶ。	山口県立大学看護栄養学部教授 内田 耕一
8	6/1 (月)	いのちへの寄り添い ～がんと緩和ケア～	いのちとは何か？自分のこの世の存在とは何か？生死に直面した患者と家族の苦しみに寄り添うことの大切さをホスピスの現場から伝える。がんについても述べる。	すえなが内科在宅診療所 院長 末永 和之
9	6/8 (月)	肥満症の治療	食事の欧米化に伴って、日本でも肥満が問題となってきている。肥満にかかわる様々な問題を取り上げる。また肥満症の最新の治療についても学ぶ。	山口県立大学看護栄養学部教授 内田 耕一
10	6/15 (月)	生活習慣病 日本人に多い癌～大腸がん	日本人の3人に1人が癌で死亡する現代、癌の予防、克服ができるよう癌の基礎知識を持つことが大切である。わが国に多い癌の一つ、大腸がんについて概説する。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学准教授 榎 忠彦
11	6/22 (月)	糖尿病の予防と治療	糖尿病の原因、病態、予防、治療について、最近の臨床試験のデータに基づいて解説する。	山口県立大学学長 長坂 祐二
12	6/29 (月)	QOL（生活の質）と医療	現代の医療では単に病気を治すだけでなく、QOL（生活の質）が重視されている。QOLとは何か、QOLをどう考えたら良いのかについて具体例を示しながら概説する。	山口県立大学看護栄養学部教授 吉村 耕一
13	7/6 (月)	再生医療	生命は限られている。永遠に生き長らえることは人の夢である。細胞を再生出来ればこの夢がかなう。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討する。	山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学教授 濱野 公一
14	7/13 (月)	求められる医療人とは	看護師としての勤務経験や、夫・家族の看取りの経験を活かした「命を守る」ための県議の活動を通し、医療人に求められる姿勢、心のあり方を考える。	山口県議会議員 藤井 律子
15	7/27 (月)	まとめ	「医学」の授業全体を踏まえて、健康と疾病について考える。	山口県立大学学長 長坂 祐二

◆受講申込書

前期公開授業「医学」を受講します。

お名前（ふりがな）	
ご住所	〒
電話・FAX	

電話またはFAX、ハガキでお申込みください。



# 生命と生活の質特論

## Quality of life

いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質 (quality of life) を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。



期 間：5月9日(土)～6月20日(土)

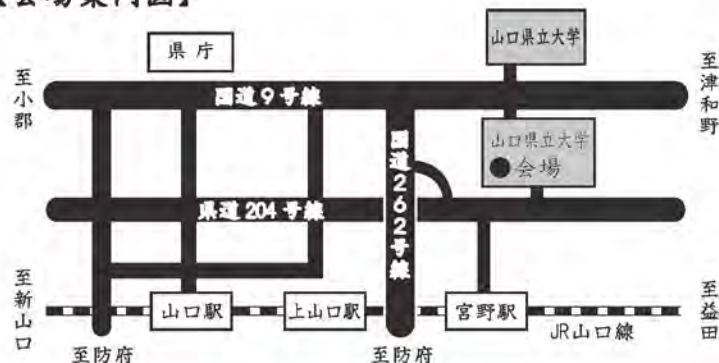
会 場：山口県立大学4号館D14教室

受講料：1回500円 10回以上5,000円

大学院の  
授業です  
部分受講可  
全15回

- 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

### 【会場案内図】



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠3-2-1

TEL 083-928-3495

山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門 宛

FAX 083-928-3021

◆講座内容

回	日程	時間	テーマ	内容	講師
1	5/9 (土)	9:00~10:30	QOLとは？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	Life:いのち、生命、生活、人生…。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学院でQuality of lifeを学ぶのか。特別ゲストとして江里理事長を迎え、医療の現場からの報告をおこなう。	理事長 江里 健輔 担当講師全員
2		10:40~12:10	日本社会の変化と 子どものこころの発達①	戦後からの日本社会の変化・家庭の変化によって子どもたちのこころの発達がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
3	5/16 (土)	9:00~10:30	豊かさとは何か？ ～古典的貧困と現代的貧困～	人類が幸福を目指す歴史の大半は、窮乏・欠乏からの解放だった。「QOL」という概念が持ち出された背景の一つである、先進国における「現代的貧困」について紹介する。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
4		10:40~12:10	国民が世界で一番幸せだと 感じる国へ	我が国もいよいよ「格差社会」へと突入しつつある。人々のQOLの基盤としての、日本人のワークライフバランスについて、北欧と比較して考える。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
5		13:00~14:30	Cure to Care の思想と実践	福祉実践で実践アプローチがいわゆる「医学モデル」から「生活モデル」へと変化した過程と生活者視点でQOLを高めるケア実践を紹介する。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
6	5/23 (土)	9:00~10:30	食事におけるQOL① ～満足できる食事とは？～	生涯を心身ともに健康で楽しく生きるために、ここでは「栄養」とともに「おいしさ」をキーワードに「QOLを高める食事」について考える。	看護栄養学部 講師 園田 純子
7		10:40~12:10	食事におけるQOL② ～加齢と食の変化～	人は加齢により味覚や嗅覚、摂食機能が変化する。食事をおいしく食べるために、調理する上での具体的な方法を紹介する。	看護栄養学部 講師 園田 純子
8		13:00~14:30	日本社会の変化と 子どものこころの発達②	日本社会の変化によって子どもたちのこころの発達の見方・特徴がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
9	5/30 (土)	9:00~10:30	コンゴ民主共和国の森の村で味わう 〈食べ物〉と本当の〈豊かさ〉	アフリカと聞いたらどんなことをイメージするだろうか。「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは大変な思い込みだと気づいた経験を語る。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
10		10:40~12:10	世界を旅して気付く 「みんな違ってみんな…」	世界各地で人々の現在の暮らし方をともに味わい、地域に根ざした伝承や芸能に耳を傾ける中で気付いた、日本人の生活に決定的にかけている「あるもの」とは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
11	6/13 (土)	9:00~10:30	地球2個半が必要な 日本人の暮らしとその影響	環境問題のほとんどは人権問題であることを公害経験は教えている。私たちの便利な暮らしが希少資源を必要とし、産出国での内戦・飢餓・レイプ・虐待などに結びついている。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
12		10:40~12:10	すべてに命がやどり魂がある という南の島の宇宙観	人間が一番偉いという思い込みを離れ、あらゆる自然の恵みに感謝しながら日々の祈りと歌に埋め尽くされた南の島の暮らし。そこから今私たちが学ぶものとは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
13	6/20 (土)	9:00~10:30	グループディスカッション (分科会)	4グループにわかれて、 グループディスカッション	担当講師全員
14		10:40~12:10	分科会の報告と質疑応答	それぞれのグループでの討論の内容を10分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	担当講師全員
15		13:00~14:30	まとめ	全員参加によるまとめと今後の展望	担当講師全員

◆受講申込書

前期公開授業「生命と生活の質特論」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話・FAX	

電話またはFAX、ハガキでお申込みください。